

# 第18回 自作教材教具展

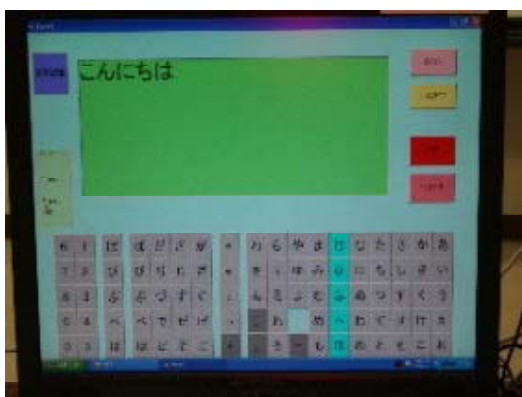
～特別支援教育の振興のために～

当総合教育センターでは、特別支援教育の振興を図るために、先生方が児童生徒のために自作した教材教具を広く紹介しています。

「彩の国教育週間」にちなんで10月31日～11月11日まで当総合教育センターにおいて展示会を開催しました。応募作品は、子どもたちへの深い愛情と、先生方の創意・工夫が溢れており、先生方と子どもたちが生き生きと授業に取り組んでいる様子が思い浮かんでくるような作品ばかりでした。期間中は、研修会等で来所した多くの方に見学していただきました。

特選、優秀賞、奨励賞及び一次審査を通過した作品について紹介します。

## 特選「自分で書けるくん」 新井 正治（県立蓮田養護学校）



### 教材教具使用対象

- ・身体的なハンディのため、自分の気持ちを文字で表したいが筆記やマウスの操作が困難である児童生徒。

### 制作意図及び工夫点

- ・マウスが使えなくてもスイッチを自由に押せる生徒はスイッチの工夫やマウス代替えの装置で文字入力できます。しかし、一回一回の操作や文字認識に時間がかかる生徒にとって

では実態に合った文字入力ソフトがなかったので制作しました。

## 優秀賞「ドリームボール」 山中日出谷（県立熊谷養護学校）



### 教材教具使用対象

- ・肢体不自由養護学校高等部の生徒

### 制作意図及び工夫点

- ・レバーを倒すだけで操作できる。どのような障害種の生徒でも、ボールを飛ばしたり当てたりする感覚を味わえる。

## 優秀賞「ピラミッド」

北澤 浩一 (県立本庄養護学校)



### 教材教具使用対象

- ・知的障害養護学校小学部の児童

### 制作意図及び工夫点

- ・はじめは手指の巧緻性を高めるために作成。  
その後、児童に見本を見せ、同じものを作る という活動に発展する。

## 奨励賞「サイフケース」

小出 孝行 (さいたま市立岩槻中学校)



### 教材教具使用対象

- ・弱視と右手にハンディのある知的障害学級の生徒

### 制作意図及び工夫点

- ・数学の授業でつけた金銭実務の力を生かせるサイフを制作する。できるだけお金が見やすく、とりやすいコイン入れ、実生活で使用可能な大きさとデザイン、機能とする。

## 奨励賞「プールで泳ごう」

岡野 君子（県立所沢養護学校）



### 教材教具使用対象

- ・知的障害養護学校小学部低学年児童

### 制作意図及び工夫点

・「プールで泳ごう」の歌にあわせてペープサートの男の子、鯨を動かすことで、イメージを膨らませ、より歌を楽しめるようにした。子ども、両面使いで日焼けの前後を表現し、糸巻きを使い 糸巻きで腕を回転させた。鯨はくりかえし塩をふくようにした。

## ----- 一次審査を通過した作品 -----

### 「埼玉県市町村別立体地図」

矢沼郷子、井澤一博（越谷市立鷺後小学校）



### 教材教具使用対象

- ・小学校弱視学級の児童3年生

### 制作意図及び工夫点

・市内と近隣の市や町などを含み埼玉県の概要を学習するために制作した。なるべく正確に縮尺をとり、全体像と各部の関係が把握できるようにした。パズル形式で学習意欲の向上を図る。全市町村点字入り。交流学习にも効果あり。

## 「重度重複障害児のパソコン使用のための補助装置」

木藤則一 (県立盲学校)



### 教材教具使用対象

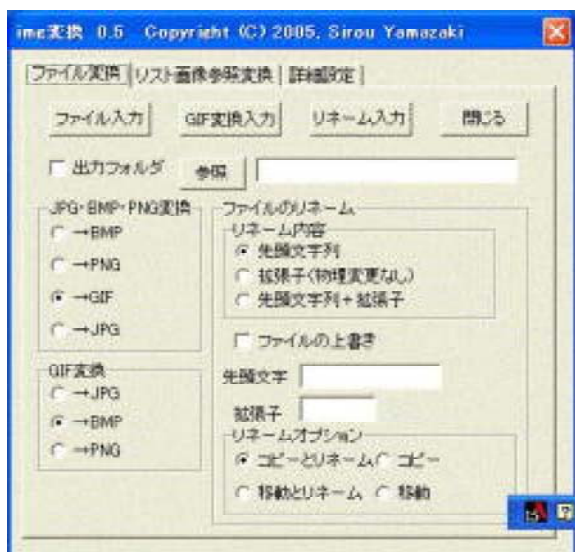
- ・ 重度の知的障害、視覚障害、自閉傾向を併せもつ幼児等

### 制作意図及び工夫点

- ・ パソコン利用の準備段階と位置付けて、重度重複障害児の可能性を探る。教育関係者、保護者等と重度重複障害者とのコミュニケーションを広げる。

## 「ファイル変換ツール」

山崎司郎 (県立盲学校)



### 教材教具使用対象

- ・ 盲学校高等部弱視生徒3年生

### 制作意図及び工夫点

- ・ インターネットで必要な画像ファイルの変換やデータの圧縮、データの名前の一括変換等を扱いやすくした。できるだけボタン操作を可能とし、ドラッグ、ドロップの操作も可能にした。

## 「福祉住空間1/20模型ハウス」 佐越清美 (県立大宮ろう学校)



### 教材教具使用対象

- ・中学生・高校生

### 制作意図及び工夫点

- ・福祉の視点から住環境を考える学習のために制作した。全体が正確に把握できるように家の間取りを忠実に再現した。十分な試行錯誤を促すため視覚を最大限に生かし、パソコンでの福祉住宅の設計にも展開できる。

## 「フォトフレーム用木枠」

### 高等部 類型Ⅲ木工班 (県立宮代養護学校)



### 教材教具使用対象

- ・肢体不自由養護学校高等部の生徒

### 制作意図及び工夫点

- ・空間認知の難しい生徒が、枝を並べるという作業は難しいので、枠にはめ込むという作業に変えた。枠があることにより、枝が固定され作業しやすくなった。

## 「手押し式キャスター遊具」 山田 隆 (県立春日部養護学校)



### 教材教具使用対象

- ・知的障害養護学校小学部の児童

### 制作意図及び工夫点

- ・屋内で手軽に楽しめる遊具として制作した。いろいろな動きの感覚を知り、楽しむことや教師、友達同士の交流等をねらう。

## 「ペグさし（４種）」 山田 隆 (県立春日部養護学校)



### 教材教具使用対象

- ・知的障害養護学校小学部の児童

### 制作意図及び工夫点

- ・指先を使う教材、余暇を楽しめる教材、個別学習の導入としての教材として制作した。興味をひくように、色をつけたり、怪獣の形にしたりした。

## 「2点結び触覚運動学習器」

新井準一（県立本庄養護学校）



### 教材教具使用対象

- ・知的障害養護学校小学部の児童

### 制作意図及び工夫点

- ・鉛筆による書字で2点結びができるようにするために制作した。2点結び見本合わせ学習プリントをしながら、マークの位置が分からない時に補助具として使う。

## 「大きさ比べ」

戸森郁子（県立東松山養護学校）



### 教材教具使用対象

- ・知的障害養護学校中学部の生徒

### 制作意図及び工夫点

- ・少し複雑な絵カードを使って、絵の大きさを弁別することを意識させたいと思い制作した。大小だけでなく中くらいのカードも作った。

## 「ノビノビ絵本」

高田信治 (県立越谷養護学校)



### 教材教具使用対象

- ・ 絵や図、音や言葉に興味や関心をもち気持ちを向けることができるようになってきた児童

### 制作意図及び工夫点

- ・ 絵と言葉の結びつきを強調・単純化した変則絵本を通して、絵本の読み聞かせを楽しむ態度や習慣、集中力をつける準備とする。意図するページを組み合わせ自由に提示することができる。

## 「佐渡の大型模型」

奥隅 正 (県立久喜養護学校)



### 教材教具使用対象

- ・ 知的障害養護学校中学部の生徒

### 制作意図及び工夫点

- ・ 佐渡への修学旅行の期待を高めるため、総合的な学習で作成した。佐渡の地形の理解を深めることがねらい。新聞紙をまるめただんごを積み重ねて山を作る。表面にお花紙を貼り、霧吹きスプレーで彩色した。

## 「木工補助具」

金澤隆之（県立越谷西養護学校）



### 教材教具使用対象

- ・ 知的障害養護学校中学部の生徒

### 制作意図及び工夫点

- ・ 生徒がのこぎりやげんのうを安全かつ、正確に使用でき、一人で活動できるよう制作した。取り組む内容をわかりやすく提示する写真カードも作成する。

## 「安心サンダー」

桂 朋子（埼玉大学教育学部附属養護学校）



### 教材教具使用対象

- ・ 知的障害養護学校高等部の生徒

### 制作意図及び工夫点

- ・ 木工材料の面取りや研磨などベルトサンダーを使っての作業で、機械に補助具をとり付けることで削りすぎを防止し、安全に安心感をもって作業に臨むことができるようにした。補助具の一部を削る材料の形状などにより、付け替えられるように工夫した。